Annual Activity Report

2016-2017

認定NPO法人テラ・ルネッサンス / 2016年度年次報告書



Terra Renaissance

ひとり一人に未来をつくる力がある

認定NPO法人 テラ・ルネッサンス



2016年の秋に開催した設立15周年記念イベントにて

2016年度・活動のお礼とご挨拶

アフリカで紛争の影響を受けた方々へのご支援を頂き、本当にありがとうございます。おかげさまでこの12年間で多くの元子ども兵や紛争の被害を受けた方々の自立を支えることができました。これからも現地の人々のオーナーシップを大切に活動していきます。



理事長・海外事業部長

小川真吾

2016年度は、カンボジアでこれまで推進してきた家庭菜園で採れた野菜を販売するマーケットを開設するなど、より「自立」と「自治」に向けた活動ができました。ラオスでも不発弾撤去を進めることができ、皆様からのご支援に感謝申し上げます。



海外事業部アジア事業 マネージャー
カンボジア事務所 所長

江角泰

たった一人から始めたテラ・ルネッサンス
15年の間で沢山の方の「平和を願う想い」に支えられ、活動を続けられました。
これからも、ひたむきに、ひたすらに平和に向けて一緒に歩んでいきます。



創設者・理事

鬼丸昌也

\ 2016年度・年次報告書の目次 /

［P.01］ 表紙
［P.02］ 2016年度・活動のお礼とご挨拶
［P.04］ スタッフ一覧 -世界で活動する仲間たち-
［P.06］ 活動地域・内容 / 解決に取り組む課題
［P.07］ ビジョン・ミッション・活動理念
［P.08］ 2016年度の活動を振り返って
［P.10］ 国際協力事業 アジア
［P.16］ 国際協力事業 アフリカ
［P.22］ 大槌復興刺し子プロジェクト
［P.26］ 啓発事業
［P.32］ 応援メッセージ / ご支援くださる企業・団体の皆さま
［P.34］ 会計報告

スタッフ一覧 - 世界で活動する仲間たち -

本部事務局（京都）


創設者・理事
国内事業部長
鬼丸昌也


総務・労務担当
牧野由起子


支援者サービス担当
上野知子


アウェアネス・レイジング
マネージャー
栗田佳典


パブリック・リレーションズ
マネージャー
小田起世和

大槌事務所


理事・大槌復興刺し子プロジェクト
マネージャー
吉田真衣


生産管理担当
佐々木加奈子


販売管理担当
佐々木静江


会計担当
黒澤かおり

カンボジア事務所


海外事業部アジア事業
マネージャー
江角 泰


海外事業部アジア事業
サブマネージャー
延岡由規


裁縫技術指導員
サムリット・ラウ


ドライバー
ヴァン・ソッピア


プロジェクトオフィサー
リー・サリアップ


プロジェクトコーディネーター
クン・チャイ


会計担当
ヨート・イェト


建設担当
ブン・トゥン


事務所警備員
ホウト・ヒアト


フィールド事務所警備員
チュン・ソーン

インターンシップ（研修生）


川島綾香


岡田実沙季


李 ダレ


土井清加


岡本美穂


小林稜弥


米田瑞希


中嶋春香


曽田穏水


烏井辰徳


原 貢太


松井由真


松本壮弘


増本淳平


堂前ひいな


大野真以


長久実由


小原美空

2016年度後期から参加し、年度末まで在籍したインターン生（ 内間美結 / 中居慶穂 ）

ブルンジ事務所


理事長
海外事業部長
小川真吾


海外事業部アフリカ事業
サブマネージャー
古岡 薗


プロジェクトコーディネーター
エジマナ・パシフィック

養蜂トレーナー
ムサ・ナンデゥチ

プロジェクトアドバイザー
エリック・ニラギラ

アフリカ事業 コーディネーター
トシャ・マギー

ドライバー
ティエリ・マサボ

ロジスティシャン
ンデレイマナ・フェリキール

コンゴ事務所

コンゴ事務所 所長
テオフィー・チシバンジ

フィールドオフィサー
クロビス・チンゴンベ

ロジスティシャン
ジョン・ピエール

安全管理スタッフ
フォーステン・チャブィヌエ

洋裁講師
デオ・カハリ

ドライバー
ジョージ・マソンガ

フィールドスタッフ
エマニュエル・ントゥブバ

事業調整員
マパタノ・ルワバグマ

安全管理スタッフ
アクサン・ゴディ

ウガンダ事務所

ウガンダ事務所 所長
（プロジェクトマネージャー）
オテマ・ジミー

海外事業部アフリカ事業
マネージャー
鈴鹿達二郎

能力向上支援担当
（木工大工訓練講師）
オドン・ベンソン

能力向上支援担当
（服飾デザイン訓練講師）
アチャー・ボスコ

心理社会支援担当
オジャラ・サンデー

セキュリティ担当
オチャカ・ジャコブ

BHN支援担当
アティム・クリスティーン

セキュリティ担当
オンウォヤ・チャールズ

ドライバー
オポカ・パトリック

BHN支援担当
オチャカ・グレース

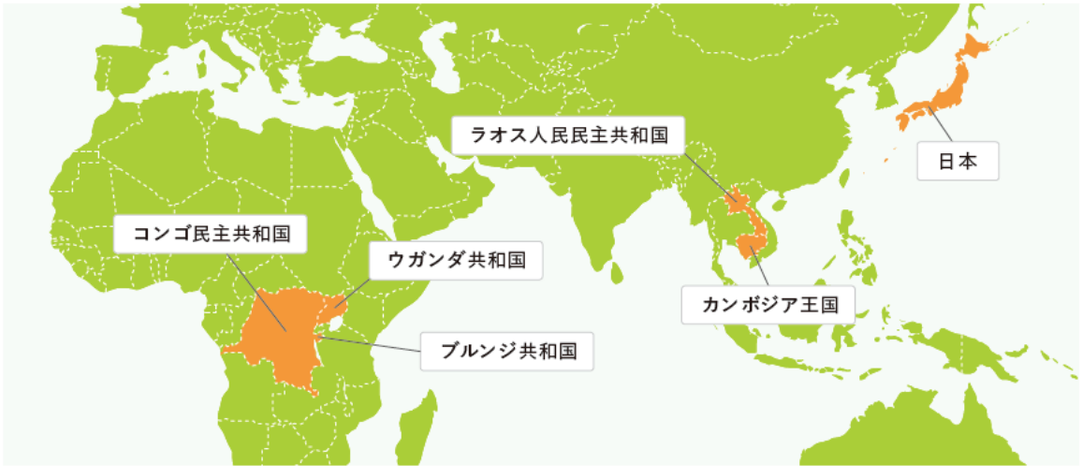
能力向上支援担当
（服飾デザイン訓練講師）
アニェコ・ビッキー

プロジェクトオフィサー
オケロ・リチャード

能力向上支援担当
（洋裁訓練講師）
オコト・ジョセフ

研修生
ミシェル・ビチュラ

活動地域・内容 / 解決に取り組む課題



コンゴ民主共和国	●元子ども兵及び紛争被害者エンパワーメントプロジェクト
ウガンダ共和国	●元子ども兵社会復帰支援プロジェクト ●不法小型武器問題啓発プロジェクト
ブルンジ共和国	●紛争被害者及び貧困層住民の能力開発を通したレジリエンス向上プロジェクト ●青少年育成パイロットプロジェクト
カンボジア王国	●地雷埋設地域村落開発支援プロジェクト ●地雷埋設地域教育支援プロジェクト ●地雷撤去支援プロジェクト
ラオス人民民主共和国	●不発弾撤去支援プロジェクト ●不発弾汚染地域学校建設プロジェクト
日 本	●啓発活動(講演、ワークショップ、スタディツアー、パネル展示など) ●政策提言(武器貿易条約締結に向けたキャンペーン及び政策提言活動など) ●東日本大震災復興支援活動(ともつな基金/大槌復興刺し子プロジェクト)


地 雷

世界には 6 千万個 ～ 7 千万個もの地雷が現在も残されており、15 万人~20 万人 が犠牲になっています。


小型武器

年間 50 万人が小型武器の犠牲となり、その約 7 割が女性と子どもたちです。また、子ども兵が増える原因の一つにもなっています。


子ども兵

18歳未満の子どもの兵士が、世界には最低でも25万人(19ヶ国)も存在すると言われています。その内の8ヶ国が、アフリカに集中しています。

＋


平和教育

講演会などを通し、紛争の事実を伝え、「私たちに何ができるのか」を考える機会を提供しています。

目的の世界 テラ・ルネッサンスの目的(ヴィジョン)

すべての生命が安心して生活できる社会 (＝世界平和) の実現

使命の樹 テラ・ルネッサンスの使命(ミッション)

当会の事業を通じ、人々に『次世代に対する責任』を啓発し、
それぞれが個人、家庭人、社会人、そして地球市民として、
未来の子どもたちの生活をも視野に入れた生活 (簡素な生活) を
実践することにより、人類共通の理想『世界平和』を実現する。

理念の土壌 テラ・ルネッサンスの活動理念

1. 私たちは一人ひとりに「未来をつくる力」があると信じ、市民の可能性を追求しています。
2. 私たちは内なる変化がすべての変化の始まりであり、変革の主体者は私自身であることを理解しています。そして、他人も変革の主体者であることを理解し、相手を尊敬しています。
3. 私たちはあらゆることは常に変化することを理解し、あきらめずに活動し続けています。



ひとり一人に未来をつくる力がある

テラ・ルネッサンスのすべての活動は、設立目的 (ヴィジョン) を追求するために行われます。
ヴィジョンを達成するために、責任を持って果たさなければならない任務が使命 (ミッション) です。
そして、すべての活動の指針となるのが、活動理念です。







2016年度の活動を振り返り、テラ・ルネッサンスのこれからを展望する

鬼丸　設立15周年を迎えた2016年度は、さまざまなトピックのあった年でした。なかでもカンボジアの地雷撤去が、当初の想定より1.3倍も速くできるようになったこと。また、ラオスで甲子園球場と同じ面積（約28万㎡）を安全にできたことは、大きな成果です。

　どちらも、報告を受けたときはとても嬉しかったですね。潅木除去機械チームや不発弾撤去団体MAG-LAOへ資金提供できたことが、前進の大きな要因です。

小川　プロジェクト10年目に入ったウガンダでは、元子ども兵23名に社会復帰支援を行いました。コンゴ民主共和国では、元子ども兵たちの溶接所や女性たちの洋裁店など、技術をさらに活かせる「場」を整えることができました。その時見せてくれた彼らの笑顔は、忘れることができません。

　長く紛争が続き疲弊したブルンジでは、養蜂技術支援、蜂蜜製品のブランディング、販促支援を行いました。なんと2015年生産分は完売し、地域住民の誇りにもつながっています。

鬼丸　大槌復興刺し子プロジェクトは、地元・大槌での認知度が上がってきたことが、今年度の特徴だと思います。また、刺し子さん2名がイギリス、フランス、イタリアを訪れ、刺し子のワークショップを開催することができました。

　啓発事業では、職員やインターンを講師として招いてくださる団体が増え、今年度は183回もの講演・ワークショップを実施しました。約18,000名もの方に、テラ・ルネッサンスの取り組みをお伝えすることができたんです。

「ないものを満たすと同時に、あるものを活かす支援を。」「平和は絶望からではなく、未来への希望からはじまる。」

小川　すごいですね！鬼丸さんがひとりで始めた講演活動を、他の職員やインターンも担えるようになってきていることがすばらしいです。

　チームとして、それぞれのスタッフが能力や個性を発揮しながら、ビジョンに向かって活動できるようになったなぁと感じています。

鬼丸　不用品リサイクルで、テラ・ルネッサンスへの寄付ができる「めぐるプロジェクト」の参加者も一気に増え、11,829人に達しました。「社会変革のためにできることがある」と実感してくれた人がこんなにいることが、本当にありがたいです。振り返れば、あっという間の15年でしたが、今後の15年を見据えた展望は？

小川　まずは、「自立」と「自治」を促進する支援。ないものを満たすと同時に、支援を受ける地域や人々にあるものを活かす（伸ばす）支援を、丁寧に展開していきたいです。

　どんな世界情勢でも、平和は実現できると愚直に信じ、行動し続けることで、世界に対して絶望ではなく希望をもって、生き続ける人が増えてほしいと願っています。

鬼丸　それは、とても大事なことです。平和は絶望からではなく、未来への希望から始まると、僕も信じています。その希望そのものに、テラ・ルネッサンスがなれるよう、これからも前進していきましょう！

1 ブルンジの養蜂技術支援で、蜂蜜のパッケージデザインに取り組む受益者の方々。2 カンボジアの教育支援において、友達と一緒に勉強できるようになった子どもたち。3 総勢253名の方々にご参加いただいた、団体設立15周年イベントの様子。



国際協力事業 アジア

2016 → 2017 Asia Region Project CAMBODIA LAOS

アジアでは、カンボジアとラオスの２か国で、地雷＆不発弾によって影響を受けている地域において、地雷＆不発弾を撤去し、安全を確保するとともに、地雷や不発弾の被害者を含めた貧困層への開発や教育支援を実施してきました。

カンボジアでは、最も地雷汚染のひどいバッタンバン州のタイ国境地域で、2016年１月 -12 月まで、地雷撤去に障害となる潅木を除去する機械チームの運営費を提供し、より早く効率的に撤去活動を進めることができました。また、地雷埋設地域の３村において、村人たちの「自立」と「自治」を目指した村落開発支援を実施し、村のマーケットの建設や、農業の専門家の育成、家畜銀行の設立、ため池の建設などを実施しました。またバッタンバン州ラタナック・モンドル郡のスラエ・スダウ小学校に新しい３教室の校舎を建設しました。さらにラオスでは、シエンクアン県において不発弾撤去チームへ、2016 年８月から1年間の活動資金を提供しています。

＼ ロカブッス村、ホンさんからのメッセージ ／

支援の学びを、自分と、村にも活かすことで、生活はもっと良くなると確信しています



2016 年度は、野菜の種の支援と牛・ヤギの飼育訓練を受けました。野菜を育てるための土地は広くはありませんが、家族で協力して多いときには 10 種類以上もの野菜を育てていました。上手く育っているときは野菜を買う必要がなく、貧しい人には無料で分けたり、お金を持っている人には野菜を売って収入を得たりしています。野菜を育てていない人たちが家まで買いに来てくれることもあります。

日本の皆さまからのご支援のおかげで、私と家族の生活は良い方に向かっています。これからテラ・ルネッサンスを通して学んだことを自分のものにして、村にも活かしていくことで、私たちの生活はもっと良くなると確信しています。村にはまだまだ貧しい人がいます。今後とも、あたたかいご支援よろしくお願いいたします。 ※受益者名は仮名です。

＼ 2016年度の事業を振り返って ／

村人の力が発揮され、起きた変化

私は、人々の変化を見るのがとても好きです。2011 年に建設したブオ・ソンクリアチ小学校では、ゴミが管理され、こちらからサポートする必要がないほどしっかりした学校になりました。校長先生の変化が大きいと思います。

また、2016 年に建設をしたスラエ・スダウ小学校では、先生と村人たちが協力して、子どもたちへ教育を提供しようとしているのが印象的でした。そして、ロカブッス村では、村のマーケットを建設しました。最初は市の開催に時間がかかりましたが、村人たちが開いた２月の市は、私が期待した以上の賑わいになりました。村人たちが持つ力が発揮されたからこそ、起きた変化です。微力が持つ可能性を追求し、さらなる変化を見てみたいと思います。

息子が日本に留学へ



［ カンボジア事務所 ］
プロジェクト
コーディネーター
クン・チャイ



1 ［ カンボジア ］ 地雷埋設地域村落開発支援プロジェクト

事業の目的	地雷埋設地域の貧困削減。地雷被害者や、元子ども兵、小型武器の被害者を含む戦争被害者が、自立して生活できるようにサポートをするとともに、新たな地雷・不発弾事故を防止すること		
事業地域	カンボジア / バッタンバン州	受益者数(累計)	約 400 家族
受益者カテゴリー	地雷埋設地域に住む貧困層の村人 地雷被害者、障害者	事業実施期間	2006 年 10 月～継続中


1

オーガニック野菜の販売から、収入向上を実現

［ ロカブッス村 ］　ロカブッス村 (152 世帯、731 名) では、幹線道路沿いと小学校の裏にある二つのコミュニティで毎月自治会を開催し、村の問題を自分たちで話し合い、解決しています。

　収入向上支援として、これまで揚水ポンプの設置や灌漑水路の掘削により、使えるようになった水を利用して小規模家庭菜園を推進してきました。村にファーマーズ・マーケットを開設し、採れたオーガニック野菜を販売する市の開催を始めました。有機野菜栽培専門家、家畜飼育専門家、有用昆虫専門家をそれぞれのコミュニティから 1 名ずつ育成する研修を実施し、毎月の自治会では彼らが育成した専門家から村人たちに訓練を実施しています。また、家畜銀行を設立し、牛銀行から 2 家族へ雌牛 1 頭ずつ、ヤギ銀行から雌雄 1 頭ずつ 2 家族への貸し出しを開始しました。

　さらに、基礎教育支援活動では、昨年に継続して経済的な理由で勉強が遅れている小学校の子どもたち 43 名への基礎教育と、村の教会で 28 名の子どもたちへ識字教育を支援しました。


2


3

1 自分で栽培したオーガニック野菜を販売する村人たち。2 月例自治会で、配布する野菜の種の栽培講習。3 小学校の校庭で休み時間にゴム跳びをして遊ぶ子どもたち。


1


2


3

［ プレア・プット村 ］　プレア・プット村では、昨年に継続して、2014 年に新しく村に編入された元地雷原のコミュニティ 24 世帯と小学校の裏の元地雷原のコミュニティ 30 世帯において、自治会の組織化支援にくわえ、家庭菜園や清掃活動の支援をしました。また、村に住む地雷被害者のパン・プン氏家族には、水瓶の提供と雌牛を支援しました。これにより日雇い労働による日当だけでなく、収入源を多様化させることで残っている借金を返済しつつ、自立への道を歩んでいるところです。また、2014 年に新しく編入されたコミュニティでは、村人たちが協力し、生活に必要な水を確保するためにため池を建設しました。

　基礎教育支援活動では、プレア・プット村の元地雷原の編入された地域に建設した幼稚園で、小学校へ通えない約 20 名の子どもたちが基礎教育を受けられるように、授業を実施しています。家庭の経済的な理由で勉強の遅れている小学校の子どもたち 33 名へ、補習授業を実施しています。

［ サムロン・チェイ村 ］　サムロン・チェイ村では、農業用の水を確保するために井戸を 3 基掘削しました。あわせて、野菜の種を配布し、栽培訓練を実施するとともに小規模家庭菜園を推進しました。また、牛銀行を設立し、雌牛の貸し出しを始めています。その他、ハリナシミツバチの養蜂やこおろぎの飼育技術訓練を実施し、飼育を始めています。

1 プレア・プット村で、村人が協力して建設したため池の完成を喜ぶ様子。
2 プレア・プット村で支援した制服を着て勉強する生徒たち。
3 野菜栽培の講習を受けるサムロン・チェイ村の村人たち。

2 ［ カンボジア ］ 地雷撤去支援プロジェクト

事業の目的	地雷による脅威を削減することで、 地雷被害を受けたカンボジアの農村地域の社会経済復興に寄与する		
事業地域	カンボジア / 北西部地域	受益者数(累計)	約 366 名、74 家族
受益者カテゴリー	地雷原と地雷原周辺に住む村人	事業実施期間	2001 年～継続中







1 畑の地雷撤去が完了して喜ぶキエン・キヴさんの家族。2 地雷原の撤去の障害になる草木を除去する機械ネメシス。3 ネメシスが整備した土地で、地雷を探す地雷探知犬。

49万㎡の地雷原を、安全な土地に

地雷撤去支援事業では、より効率的に地雷を撤去するために提携する地雷撤去団体 MAG の "ネメシス" という機械チームの運営費の提供を、2016 年 1 月 -12 月まで実施しました。ネメシスは、地雷を撤去する際に最も時間のかかる草木などの潅木を除去する作業を実施し、地雷探知犬チームと共同して、より早く地雷撤去ができるように貢献しています。対人地雷の爆発の威力には耐えられるようにできており、地雷原の中で 2 名のスタッフによる遠隔操作により、安全に潅木を除去できます。地雷探知犬チームと組み合わせることで、地雷撤去にかかる時間とコストを大幅に削減することができています。2016 年 1 月 -12 月までに、バッタンバン州サムロート郡やラタナック・モンドル郡で、490,985 ㎡の地雷原を安全にすることに貢献し、25 発の地雷を含めた爆発物を安全に爆破処理をしました。これにより 74 家族、366 名に直接的に裨益しています。この機械チームの活動により、当初予定していた面積を 36% 上回るスピードで撤去できました。





新しい校舎を建設し、雨でも勉強ができるように

カンボジアのバッタンバン州ラタナック・モンドル郡にあるスラエ・スダウ小学校では、木造の校舎の損傷が激しく、屋根や壁が壊れていることで、雨季に雨が降ると授業ができない状態にありました。そこで、新しい 3 教室の校舎と貯水タンク、トイレを建設し、98 名の子どもたちが雨季でも授業が受けられるようになりました。

1 スラエ・スダウ小学校の新校舎で授業を受ける子どもたち。
2 小学校開校式後、バドミントンをした先生と子どもたち。

3 ［ ラオス ］ 不発弾撤去支援プロジェクト

事業の目的	不発弾汚染地域のコミュニティの安全を確保し、開発支援につなげるとともに、 住民の不発弾によって死傷する危険性を低減する		
事業地域	ラオス / シエンクアン県	受益者数(累計)	直接受益者 2,958 名 間接受益者 4,526 名
受益者カテゴリー	不発弾汚染地域に住む住民	事業実施期間	2016 年 8 月 ～ 2017 年 3 月

不発弾 208 発を撤去し、6,000人以上の暮らしが向上

シエンクアン県で活動する不発弾撤去団体 MAG-Lao と提携し、2016 年 8 月から 2017 年 7 月までの 1 年間、同団体の第 31 不発弾撤去チームへ不発弾撤去活動費を提供しています。2016 年 8 月～2017 年 3 月までに 327,911 ㎡の土地を安全にし、208 発の不発弾を撤去できました。これにより、2,103 名が直接受益し、4,526 名が間接的に受益しました。稲を栽培していない乾季に、田んぼの中にある不発弾をできる限り撤去し、村人たちが稲作をする雨季には、その他の村人たちの生活圏内の場所を撤去します。見つかる不発弾は、ほとんどがクラスター爆弾の子爆弾です。



1 稲刈り後の乾季の田んぼで不発弾撤去の作業をする様子。



国際協力事業 アフリカ

2016 → 2017　AFRICA REGION PROJECT　UGANDA CONGO BURUNDI

ウガンダでは、これまで 192 名の元子ども兵、及びその家族を含む紛争被害者、約 1,200 名への支援を行ってきました。2016 年度は 23 名の元子ども兵（第８期生）への職業訓練、基礎教育、心理社会支援などを実施後、機材・用具類の提供とともに、収入向上支援を開始しました。コンゴ民主共和国においては、元子ども兵や性的暴力を受けた女性たちを対象とした職業訓練を行い、技術を習得した元子ども兵への溶接所開設支援、女性グループへの洋裁店の開業支援を行いました。これにより、それぞれが村々で収入を得ることができるようになりました。あわせて、紛争被害を受けた女性たちを対象に共同農場での農業支援を行い、必要な自給食料を生産・確保することができました。ブルンジでは紛争被害者や最貧困層を対象に、養蜂技術の指導、ハチミツの販促支援、及び窯業の技術訓練を行い、同時に同コミュニティの子ども、青年を対象に伝統ダンス教室、サッカー教室を開催しています。

＼元子ども兵、サイモンさんからのメッセージ／

大工としてきちんと仕事ができるのだと、自信を深めることができました



2015 年 6 月から 1 年半、テラ・ルネッサンスで社会復帰の支援を受けてきました。技術訓練は実技が中心で、実践的に椅子や机、ベッドなどを作りました。2016 年末には技術訓練を終えて、ビジネスの訓練を行っています。同じ訓練生５名と一緒に、町の学生寮の近くに木工大工の作業所を構えています。ここでは、主に学生が勉強机やベッドを注文してくれていて、口コミによってお客さんが少しずつ増えています。先日は、テラ・ルネッサンスの訓練を卒業した先輩が声をかけてくれて、村に泊まり込みで建設の仕事をしてきました。この仕事で、自分も大工としてきちんと仕事ができるのだと、自信を深めることができました。今、少しずつお金を貯めながら、時々村に帰って自分で家を建てていて、幸せな家庭を築いていくために日々仕事をしています。私たちの自立を応援してくださる日本の皆さんに、感謝しています。本当にありがとうございます。　※受益者名は仮名です。

＼2016年度の事業を振り返って／

問題を抱えていても、人は幸せになれる

この一年、活動してきて思うことは、「人は問題を抱えていたとしても幸せになれる」ということです。

ブルンジやコンゴの人々は、いまだに紛争の影響で心に傷を負ったり、貧困や失業、災害など様々な問題を抱えながら生きています。そんな状況でも、これまで支援をしてきた対象者たちは、家族や近隣住民と協力しながら生活を再建しつつあります。しかし、問題が全て無くなったわけではありません。問題を抱えながらも、日々の小さな楽しみや、小さな幸せに敏感に気づき、前向きに生きているのです。問題に囚われ、それを排除しようとする視点だけではなく、その問題と、どうすれば、うまく付き合える環境（心理的、社会的、経済的な環境）を作れるのか、そのことを考えていく視点が支援する私たちの側にも必要だと感じています。

日本語ちょっとできる



［ アフリカ事業 ］
プロジェクト
コーディネーター
トシャ・マギー



1 ［ ウガンダ ］元子ども兵社会復帰支援プロジェクト

事業の目的	元子ども兵が社会復帰するために必要な能力を身につけ経済的に自立するとともに 地域住民との関係を改善しながらコミュニティで安心して暮らせるようになること		
事業地域	ウガンダ / 北部地域	受益者数(累計)	1,232 名 (内、元子ども兵は 192 名)
受益者カテゴリー	元子ども兵及びその家族 最貧困層住民	事業実施期間	2005 年 5 月～継続中





18 名の元子ども兵（第 8 期生）が、経済的に自立することができました

2015 年度から引き続き、第 8 期生の元子ども兵 23 名へ、社会復帰のために必要な職業訓練、基礎教育、平和教育、また心理社会的な負担を軽減するためのカウンセリングなどの心理社会支援を実施することができました。2017 年 3 月末時点では、そのうち 18 名が、習得した技術と知識を使って経済的に自立することができています。また、2015 年度、収入向上支援を行っていた元子ども兵（第 7 期生）及び最貧困層は、現在、全員が自らの力で収入を得て生活できるようになりました。

2 ［ ウガンダ ］不法小型武器問題啓発プロジェクト

事業の目的	不法小型武器の流通・拡散が、コミュニティに及ぼす悪影響について 一般市民の意識が向上すること		
事業地域	ウガンダ共和国 / カンパラ市	受益者数(累計)	ー
受益者カテゴリー	一般市民	事業実施期間	2005 年 5 月～継続中

2016 年 6 月の国際小型武器週間に合わせて、不法小型武器問題がコミュニティに及ぼす影響を啓発するためのイベントを現地 NGO と協力して開催することができました。同問題を啓発する機会を提供することができ、参加者からは、不法小型武器を回収することの重要性を理解することができた等のコメントが聞かれています。

3 ［ コンゴ ］元子ども兵及び紛争被害者エンパワーメントプロジェクト

事業の目的	元子ども兵及び紛争被害者がエンパワーメントされ、BHN（人間としての 基本的なニーズ）を満たして生活できるようになること		
事業地域	コンゴ / 東部、南キブ州、 カレヘ行政区、カロンゲ区域	事業実施期間	2009 年 6 月～継続中
受益者数(累計)	直接受益者：711 名（内訳：元子ども兵 171 名、性的暴力を受けた女性 382 名、孤児 158 名）		
受益者カテゴリー	元子ども兵、紛争被害者（性的暴力の被害女性、孤児、最貧困層住民）		



念願だった、女性たちの洋裁店をオープン

2015 年度に引き続き、紛争下で断続的な避難生活を強いられている性的暴力の被害を受けた女性たちを主な対象者に、自給食料を確保するための農業支援や、農機具、種子の供与を行いました。それにより全員が主食作物をすべて自給することができ、また、共同農場においてカッサバを栽培したことで、治安悪化により耕作地を放棄せざるをえなかった対象者たちの食料を確保することができました。結果、この約 3 年間で、同農場において約 70 トンのカッサバを収穫することができており、これは約 200 人が 1 年間に消費する量に相当します。また、洋裁の技術訓練を昨年度までに修了していた女性たちへ洋裁店の開業支援を行ったことにくわえ、溶接技術の訓練を終えた元子ども兵らに対し、グループで溶接ビジネスを行う溶接所開設の支援を行なうことができました。



1 洋裁技術を習得し、グループで洋裁店を開業した受益者たち。**2** 元子ども兵たちが運営する溶接所。

4 ［ ブルンジ ］紛争被害者及び貧困層住民の能力開発を通したレジリエンス向上プロジェクト

事業の目的	紛争被害者が生計向上のための能力を開発するとともに、コミュニティビジネス（生産者協同組合）が組織され、持続的なコミュニティの収入源が確保されること		
事業地域	ブルンジ / ムランビヤ県キガンダ郡	受益者数（累計）	98 世帯 約 600 名 若年層住民約 300 名
受益者カテゴリー	紛争被害者及び最貧困層住民	事業実施期間	2015 年 4 月～2018 年 3 月


1


2


3

養蜂の技術支援によって、20 万円の収入を得ることができました

最貧困層及び、紛争被害を受けた対象者 58 名に、養蜂技術支援、ハチミツの販促支援、ブランディング支援などを実施し、それによりグループで約 20 万円の収入を得ることができました。また、省エネ窯を建設し、40 名を対象に窯業技術の訓練を開始し、地元で使われている瓦や省エネレンガ、陶器類を製造する技術を対象者が習得することができました。あわせて、地元の諺を使った平和教育を行っています。

1 養蜂技術を習得し、ハチミツを瓶詰めした受益者たちと当会職員。
2 窯業技術を学び陶器を製作した受益者。
3 窯業訓練で受益者たちが製造した省エネレンガ。

5 ［ ブルンジ ］青少年サッカー教室プロジェクト

事業の目的	対象地域の青少年がスポーツを通して、さまざまな困難に適応していく身体的、精神的な強靭性を身につけること		
事業地域	ブルンジ / ムランビヤ県キガンダ郡	受益者数（累計）	約 50 名
受益者カテゴリー	対象地域の若者	事業実施期間	2016 年 4 月～2018 年 3 月

地元の若者たち 50 名へ、サッカー教室を開催

サッカー場が完成し、地元の若者たち約 50 名を対象に週一回のサッカー教室を開催し、近隣の村々との親善試合を開催することができました。また、地元の子どもや若者たちが集い、スポーツを楽しむ場として活用されています。



6 ［ ブルンジ ］伝統ダンス教室プロジェクト

事業の目的	対象地域の子ども・青少年が伝統ダンス教室を通して、地元の文化と伝統に誇りを持ち、さまざまな困難に適応していく身体的、精神的な強靭性を身につけること		
事業地域	ブルンジ / ムランビヤ県キガンダ郡	受益者数（累計）	約 50 名
受益者カテゴリー	対象地域の若者	事業実施期間	2016 年 4 月～2017 年 3 月





伝統ダンスを通じて、あらゆる困難に立ち向かうための強さを養っていく

対象地域の子どもたちを中心に毎週、伝統ダンス教室を開始することができました。また、訪問者や催しの際にダンスのパフォーマンスを披露する機会を提供することができています。



大槌復興刺し子プロジェクト

2016 → 2017　Otsuchi Sashiko Project　JAPAN

大槌復興刺し子プロジェクトでは、日本に昔から伝わる手しごとの一つである「刺し子」を活用した商品の企画・製作・販売を行っています。製品の作り手である「刺し子さん」として活躍するのは、岩手県大槌町で、東日本大震災により被災された中高年の女性の方々。2016 年度も、毎週 2 回、商品の買取りや材料の配布を行う「刺し子会」の開催に加え、商品製作に必要な技術を学ぶ「技術講習会」、刺し子の事務所を訪れた方々と交流する「お茶っこの会」などを行いました。さらに、ヨーロッパへの刺し子さんの派遣、仮設住宅での刺し子体験会の開催、町内の商業施設における初の作品展示会の実施とともに、ホームページのリニューアルも行い、内外に新しい大槌刺し子を発信することができた 1 年となりました。

＼ 刺し子に励む後藤さんからのメッセージ ／

地元の人にも、大槌刺し子のことを知ってもらい 親しみを持ってもらえたことが、とても嬉しかった



2016 年度は、大槌町内にある応急仮設住宅と商業施設で、刺し子体験会や作品展示会を行いました。刺し子体験会は、1) 震災から 5 年以上たった現在も仮設住宅で暮らす方々に刺し子を楽しんでもらうこと、2) 刺し子さんが「先生」として、刺し子を皆さんにお伝えすることで、地域に貢献する役割を担ってほしい、という目的で行いました。また、作品展示会も、町内の方々に大槌刺し子を知っていただき、刺し子さんや町の人にとって誇りとなるプロジェクトに成長したいとの思いで開催しました。刺し子体験会や展示会に参加した刺し子さんの一人、後藤富子さんは、「地元の人にも大槌刺し子がどんな活動をしているのか知ってもらい、親しみを持ってもらえたことがとても嬉しかった」と話してくださいました。

＼ 2016年度の事業を振り返って ／

大槌刺し子、ヨーロッパへのチャレンジ

2016 年度の大槌刺し子は、たくさんの新しいチャレンジを行うことができました。ひとつは、良品計画さまとの共同制作商品のプロモーションを兼ねたヨーロッパ遠征。スタッフ 1 名と刺し子さん 2 名（一兜貴昭さんと大澤美恵子さん）がパリ、ミラノ、ロンドンの 3 都市を訪れ、日本の伝統文化である刺し子を紹介するとともに、東日本大震災からの復興の過程、支援への感謝をお伝えしました。

また、「大槌町を元気にする」というミッションステートメント（2015 年度作成）でも掲げた内容を実践するために、刺し子体験会や作品展示会の開催など、町内での活動にも注力しました。こうした活動により、町内の多くの方々が大槌刺し子に触れる機会を持ち、刺し子さんやスタッフの自信にも繋がったことを大変嬉しく思います。

石鹸マニア



［ 日本 岩手事務所 ］
大槌復興刺し子プロジェクト
マネージャー
吉田 真衣



1 大槌復興刺し子プロジェクト

事業の目的	刺し子商品を企画・販売し、東日本大震災で被災された方々への商品製作代金の支払いを通じて、生活再建を促進する。また、商品製作にあたり技術講習会などを通じ、被災された方々の相互交流を活性化させ、心理的社会負担の軽減を図ること 「刺し子」による、継続的な手仕事の提供、地元人材の雇用創出、及び事業を通じた訪問客等による地域活性化への貢献のため、東日本大震災から10年後の2021年までに、NPO法人テラ・ルネッサンスから、独立採算による別法人化を果たし、現地職員と地元住民による運営を目指すこと		
事業地域	日本	受益者数(累計)	186名
受益者カテゴリー	東日本大震災の被災地域の女性	事業実施期間	2011年6月～継続中





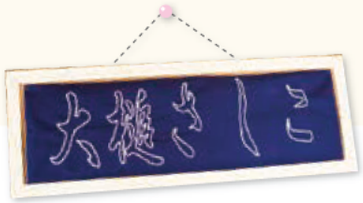


1 仮設住宅での「刺し子体験会」で参加者に教える刺し子さん。2 布に下書き作業を行う様子。3 襤褸の生地補修を行っている。

刺し子商品で、1,162万円の売り上げを記録

2016年度は、新商品として、「くるみボタン」、「ツナグ～刺し子ポーチ～」、「マルチクロス」(2種類) をリリース。商品売上は合計1,162万円、刺し子さんには工賃として、249万円をお支払いすることができました。くるみボタン発売時期には、熊本地震が発生したことを受け、くるみボタンを寄付付き商品として販売したり (発売より1ヶ月間)、刺し子さんたちにも募金を呼びかけ、総額54,421円を被災地の子どもの学習支援を行う公益社団法人チャンス・フォー・チルドレンに寄付しました。

また、仮設住宅における「刺し子体験会」を5回実施し、35名が参加。大槌復興刺し子作品展示会にも、累計130名以上の来場がありました。その結果、2名の刺し子さんが新たに活動に参加してくださるようになりました。



＼ 刺し子商品、愛用者の声 ／

商品を通じて、大槌刺し子プロジェクトと大槌町への想いを馳せる



杉田 貴子さん

かつて我が家の子どもたちが通っていた米国の日本人学校に、大槌町から校長先生として赴任してこられたのがI先生でした。それが大槌町と私たち家族とのご縁の始まりです。I先生や奥様が住んでおられる大槌町のことは、特に震災が起きて以来気にかかり、報道を見続けていますが、あるとき大槌復興刺し子プロジェクトを知ることになりました。

私が初めて購入したのは『かもめパーカー』でした。ネイビーの生地に虹色の糸で丁寧な刺繍がしてあり、とても気に入っています。先日、日本橋高島屋で開催された「いわて展」でプロジェクト・マネージャーの吉田真衣さんから大槌で刺し子制作に携わっておられる皆様のご様子をお伺いすることができ、一層このプロジェクトに親しみを感じるようになりました。



＼ 2016年度の新商品 ／



くるみボタン
ヘアゴム・ピンバッジ
(全6種)



ツナグ～刺し子ポーチ～
サイズ:大・中・小　カラー:2種
(全6種)



マルチクロス
(全4種)

新商品も大人気！プレゼントにいかがですか？
商品のお買い求めは公式サイトをご覧ください。

大槌刺し子　検索
https://sashiko.jp/



啓発事業

2016 → 2017 AWARENESS RAISING PROJECT JAPAN

現場での支援はもとより、現場で起こっている問題の根本的な解決を目指すテラ・ルネッサンスでは、一人でも多くの方に、テラ・ルネッサンスが取り組む課題、そしてその課題解決に向けた取り組みを知っていただくため、日本国内での啓発活動に取り組んでいます。

さらに誰でもできる具体的な参画の機会をつくるため、めぐるプロジェクトとして、書き損じハガキ、不要になった携帯電話、キフ★ブック（古本等）、フクサポ（衣類等）、コシサポ（古紙）、アルサポ（アルミホイール）の支援協力の呼びかけを行うとともに、書籍、ウガンダコーヒー、ウガンダのゴマを使ったクッキー等の販売も行っています。さらにイベントや活動報告会では活動内容の紹介を行い、講演会の講師として日本各地を訪れています。特に2016年度は、設立15周年イベントを京都、東京で実施し、これまでの成果を数字化し、ご支援、ご協力へのお礼を伝えるとともに、これからテラ・ルネッサンスが目指す方針について伝える機会となりました。

＼ 15周年イベント、参加した方からのメッセージ ／

人の「想い」から全てが始まり
実現できる力があると感じることができました



テラ・ルネッサンスが15年間で成し遂げてきたことを共有し、感謝を伝えるとともに、これから目指す社会への展望をご報告する機会として、京都・東京にて、15周年記念イベントを開催し、253名の方に参加いただきました。イベントを通して古くからご支援くださる方との繋がりを深くすることができ、今回新たに当会を知ってくださった方にも、これからの活動をともにするきっかけとなりました。（右記：参加者の感想メッセージ）

「処置」と「予防」という言葉が心に残りました。啓発活動についての意識が変わったように思います。（20代・男性）

人の「想い」から全てが始まり、実現できる力があると感じることができました。「未来が明るい」、「未来を創っていける」と感じさせてもらえる素敵な場でした。元気をいただき感謝しています。（40代・女性）

＼ 2016年度の事業を振り返って ／

累計1,475回の講演会を実施しました

2016年度は、団体設立15周年という節目の年となり、これまでの活動を振り返る機会にもなりました。特に、啓発の柱となる講演活動は累計1,475回を超え、多くの方の支えによって啓発を行うための地盤を構築することができました。

また、めぐるプロジェクトは、フクサポの取り組みへの協力者が増えたこともあり、協力者も換金額も年々増加しています。この要因には、職員、インターンによる講演の増加や、イベントへの出展を含め、当会のことを知っていただく機会を例年以上に作れたということが考えられます。

今後も、啓発活動へさらに力を入れて、テラ・ルネッサンスのビジョンである「すべての生命が安心して生活できる社会（＝世界平和）の実現」に向けて、平和の種を蒔き続けていきたいと思います。

講演依頼、募集中！



［ 日本 京都事務局 ］
啓発チーム
マネージャー
栗田 佳典



啓発事業のプロジェクト概要と成果

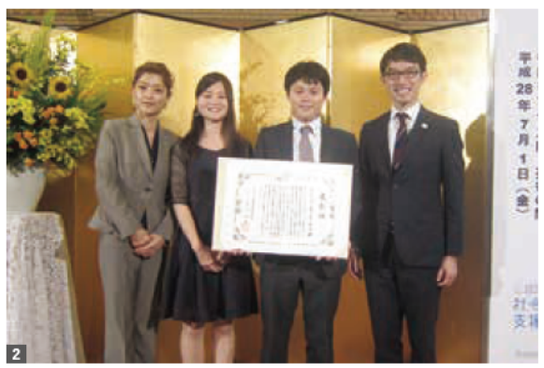
	キフ★ブック（めぐる）	フクサポ（めぐる）	コシサポ（めぐる）
	古本やCDを集めることで、誰にでも参加できる国際協力を提示し、関心を集めるとともに資金を調達する。 参加者数　272名・団体	古着を集めることで、誰にでも参加できる国際協力を提示し、関心を集めるとともに資金を調達する。 参加者数　11,365名・団体	古紙を集めることで、誰にでも参加できる国際協力を提示し、関心を集めるとともに資金を調達する。 参加者数　48名・団体

	アルサポ（めぐる）	はがき・ケータイ（めぐる）	講演・イベント
	タイヤのアルミホイールを集めることで、誰にでも参加できる国際協力を提示し、関心を集めるとともに資金を調達する。 参加者数　7件	書き損じはがき、携帯電話を集めることで、誰にでも参加できる国際協力を提示し、関心を集めるとともに資金を調達する。 参加者数　159名・団体	講演やイベントへの参加を通して、取り組む課題、活動への関心を集める。 参加者数　18,722名

	スタディツアー	募金箱	パネル
	活動事業地の訪問見学を通じて、取り組む課題や活動への関心を集める。（2016年度の訪問地はウガンダ） 参加者数　17名	お店や企業内での募金箱の設置を通して、活動の啓発を行うとともに、活動資金を調達する。 参加者数　66団体 1,542,046円	子ども兵や地雷の写真パネルを通じて、取り組む課題や活動への関心を集める。 貸し出し　3団体

	表彰・受賞
	・第46回社会貢献者表彰（公益財団法人社会貢献支援財団）





1 東京で開催されているグローバルフェスタというイベントに出展し、来場した多くの方に当会の活動についてお伝えしました。

2 人々や社会のためにつくした個人・団体を表彰する『社会貢献者賞』。社会貢献の功績部門で受賞しました。

啓発トピック、その1

平和への想いを馳せる、ペーパービーズブレスレット制作体験会



2016年8月6日、大阪の藤井寺市にて開催された「平和のための戦争展」の催しで、いずみ市民生協さん、近畿労働金庫さんにご協力いただき、ペーパービーズアクセサリー制作体験ワークショップを実施しました。

ペーパービーズとは、紙をまるめて作るビーズアクセサリーで、当会が活動を行うウガンダでは工芸品として親しまれています。日本でもその文化に触れてもらおうと機会をいただき、合計68名の方がご参加くださりました。

制作したブレスレットが会話をはじめるきっかけになると同時に、平和への想いを馳せるきっかけになればと願っています。





啓発トピック、その2

向島東中学校で4年連続の出張授業を行いました

京都市立向島東中学校の2年生を対象に出張授業を行いました。3クラス同時進行の授業で、3人の講師をテラ・ルネッサンスから派遣。カンボジアの課題や取り組みについて50分、体感しながら学んでいただく機会となりました。あるクラスでは、実際に地雷の模型を設置してみんなで探したり、他のクラスでは、クイズやグループで話し合いながら、課題について考えるといった内容の授業を行いました。

授業後には、「知って伝えていきたい」「できることは限られているけど、限られているからこそやっていきたい」「書き損じはがき送ります！」といった感想もいただき、生徒さんの中で何かが動き出すきっかけをつくることができました。今後もこうした機会をいただきながら、教育現場でも地雷や、子ども兵の課題について、お伝えしていきたいと思います。

講演実績

※順不同

企業・団体	株式会社 FUJITSU ユニバーシティ / アイ・ケイ・ケイ株式会社 / 株式会社リーフ / 株式会社ウメックス 株式会社富士通関西中部ネットテック / 株式会社 aura / 石坂産業株式会社 / プライムエージェント株式会社 株式会社 DMM.com / 株式会社みずほ銀行 / 株式会社 NTT データ / 株式会社ジェイック 宇都宮文化センター株式会社 / 株式会社ぱるる / 株式会社あおば / NEC ネッツアイ株式会社 / 薬樹株式会社 近畿労働金庫 / 株式会社船井本社 / 日本政策金融公庫 / 株式会社明道館 / 般若科技有限公司（台湾）/ 医療法人五月会須崎くろしお病院 / 医療法人社団大浦会 / 医療法人社団恵心会京都武田病院 / 社会福祉法人合掌苑 独立行政法人国際協力機構関西国際センター / 一般社団法人日本道経会千葉互敬塾 秋田商工会議所（運輸交通部会）/ 一般社団法人地域経営推進センター / 公益社団法人青年海外協力協会沖縄事務所 一般社団法人 IT 検証産業協会 / 公益社団法人生命保険フィナンシャルアドバイザー協会宮城県協会 公益財団法人京都府国際センター / 一般財団法人レオ財団 / （特活）コミュニケーション研究センター （特活）福岡 NGO ネットワーク / （特活）働く人の笑顔創り研究所 / （特活）国際協力 NGO センター （特活）関西 NGO 協議会 / （特活）大阪高齢者大学校 小倉南ロータリークラブ / 京都乙訓ロータリークラブ / さいたま新都心ロータリークラブ 東京サンライズ汐留ロータリークラブ / 東京小石川ロータリークラブ / 京都洛北ローターアクトクラブ 甲府ライオンズクラブ / 練馬区倫理法人会 / 前橋市倫理法人会 / 宇都宮中央倫理法人会 太田かなやま倫理法人会 / 佐野市倫理法人会 岡山 ESD 推進協議会 / 青年真志塾 / テラ・ルネッサンス栃木 / コープ自然派京都 大阪いずみ市民生活協同組合 / 認定 NPO 法人テラ・ルネッサンス設立 15 周年記念秋田講演会実行委員会 中井麻里子 (2016/11/19 札幌市講演会) / まなびと ESD ステーション / 京都市市民活動総合センター 京都弁護士会四一会 / コープこうべ / かふか夢塾 / 日本ファンドレイジング協会関西チャプター Social profit / 九州経営フォーラム実行委員会 / 国際開発学会 / 公益資本主義推進協議会大阪支部 満月の会 / いなり京友会 / 金光教 / 立正佼成会関東教区 / 立正佼成会静岡支教区 新日本宗教団体連合会中部総支部 / 京都市伏見青少年活動センター / Kyoto Social Problem Research 東北店技研クラブ / 夢プロジェクト委員会
教育機関	同志社国際学院初等部 / 和光小学校 / 東御市立北御牧小学校 / 橋本市立あやの台小学校 横浜市立荏田南中学校 / 高取町立高取中学校 / 長崎市立小ケ倉中学校 / 門真市立はすはな中学校 諏訪市立上諏訪中学校 / 枚方市立長尾西中学校 / 枚方市立さだ中学校 / 京都市立大宅中学校 / 大月市立猿橋中学校 京都市立朱雀中学校 / 寒川町立寒川中学校 / 亀岡市立亀岡中学校 / 京都市立中京中学校 / 津山市立鶴山中学校 八王子市立宮上中学校 / 仙台市立西山中学校 / 立命館宇治中学校 / 京都市立向島東中学校 / 大阪市立緑中学校 京都府立西舞鶴高校 / 京都府立綾部高校 / 京都府立桃山高等学校 / 大阪府立福井高校 / 立命館宇治高校 大阪府立住吉高校 / 京都府立福知山高校 / 大阪府立島本高校 / 大阪府立佐野高校 / 神戸龍谷高校 兵庫県立兵庫工業高校 / 同志社高校 / 長崎県立諫早高校・附属中学校 / 郁文館高校 / 秋田市立秋田商業高等学校 神戸大学 / 三重大学 / 上智大学 / 国際教養大学 / 京都女子大学 / 甲南女子大学 / 龍谷大学 / 京都造形芸術大学 創価大学 / 早稲田大学グローバルエデュケーションセンター / 上智大学 / 千里金蘭大学 / 神戸外国語大学 東北芸術工科大学 / 常磐会学園大学 / 法政大学大学院（坂本光司ゼミ） 東和学童クラブ運営協議会 / アイセック神戸大学委員会 / 平安養育院 / R.I.2640 地区インターアクトクラブ 神奈川県公立中学校教頭会
行　政	人事院（公務員研修所）/ 長野県庁 / 広島県庁（国際平和のための経済人会議）/ 静岡県庁 静岡県教育委員会 / 熊本県庁 / 茅ヶ崎市役所 / 京田辺市役所 / 一関市役所 / 町田市役所 / 呉市役所 湖南市役所沖縄自治研修所 / 公益社団法人ふくしま自治研修センター / 鳥取人権センター 長崎県市町職員研修センター

メディア掲載実績（重複を除く）

秋田魁新報 / 河北新報 / 岩手日報 / 京都新聞 / 宮崎中央新聞 / 毎日新聞 / 佼成新聞 / 聖教新聞 / 第三文明 / 新宗教新聞 / ソトコト

＼講演・主催者の声／

生徒たちの認識が強く揺さぶられたことで、世界を変えようと、前向きにチャレンジする生徒が少しずつ増えています



京都府立西舞鶴高等学校
教諭（地歴公民科）
高矢 和馬 さん

人権教育の一環として、本校の１年生 280 名を対象に、栗田さんに御講演いただきました。講演後には、感想用紙を書いている生徒たちの教室を回り、生徒たちからの質問に答えていただきましたが、あまりの反響により、予定時間をはるかに過ぎて質問攻めにしてしまうという結果になってしまいました。普段使っているスマホの材料にも関わる途上国で、自分と年齢の変わらぬ子どもが「子ども兵」として生きているという現実は、生徒たちのもつ認識を強く揺さぶりました。

「一人ひとりの力は微力だが、無力ではない」という栗田さんの言葉に励まされ、前向きにチャレンジし、世界を変えようと動き出す生徒が、少しずつ増えていっています。

＼講演・参加者の声／

とても感動したが、あまりに普段の生活とかけ離れた世界のことだったので、まだ戸惑いがあります。一番強く感じた事は、幸せに働ける場があることを、当たり前だと感じていてはいけないということでした。良い意味で、かなりショックを受けました。（40 代・女性）

支援させていただいている先が、どういった現状なのか、どんな風に寄付金を使っていただけているのかが分かり、とても良い学びになりました。（20 代・女性）

すごく分かりやすくて、話が入ってきました。（10 代・男性）

各種主催イベントへの出展

2016.06.20	第 10 回頑張らないチャリティバドミントン大会（頑張らないバドミントン研究会）
2016.08.06	平和のための戦争展（担当ブース：大阪いずみ市民生活協同組合）
2016.09.10	国際協力ステーション（JICA 関西　公益財団法人京都府国際センター）
2016.09.18	清水寺で世界を語る　～「家族」わたしとあなたの幸せを～（清水寺で世界を語る実行委員会）
2016.09.30	第 38 回生活クラブ生協フェスタ（生活クラブ生活協同組合大阪　生活クラブ生協フェスタ実行委員会）
2016.10.01,02	グローバルフェスタ JAPAN2016（グローバルフェスタ JAPAN2016 実行委員会）
2016.10.30	第 25 回 生協祭 あいたくて都市生活（生活クラブ生協都市生活）
2016.11.13	京都ヒューマンフェスタ（京都府）
2016.12.10	ペーパービーズでクリスマスツリーをつくろう（京エコロジーセンター）
2016.12.11	アフリカン・クッキングクラス（国際協力団体 BWP）
2016.12.17	サンクス 65（KBS 京都）
2016.12.23	ワンワールドフェスティバル for Youth（公益財団法人大阪国際交流センター、NPO 法人関西ＮＧＯ協議会）
2017.02.11	ひょうご・こうべワールド・ミーツ for YOUTH（Ｇ７神戸保健大臣会合推進協議会、WHO 神戸センター）
2017.03.25	春爛漫！ココロオドル祭り（古川町商店街）

応援メッセージ / ご支援くださる企業・団体の皆さま



大西 英玄さん
音羽山 清水寺
法人寄付

京都清水寺の大西英玄と申します。テラ・ルネッサンス様とは数年前よりご縁を頂き、毎年秋に境内で啓発活動をご一緒したり、大槌復興刺し子プロジェクトに協賛させて頂いたりしております。安心、平和は誰かが作ってくれるものではなく、皆で築くもの、我々は全員がその当事者であると思います。一人ひとりが、自分に出来る事から始める、その先頭に立って、ご尽力され、社会に模範を示している皆様をこれからも応援していきます。



谷澤 公彦さん
タニザワフーズ株式会社
取締役副社長 / ファンクラブ会員

「Peace by Piece」昨年の15周年イベントのテーマ、平和へのひとかけらは私にとってとても心強いメッセージとなっています。初めて鬼丸さんと会ったのは水戸の地。その時に伝えていただいたカンボジア、アフリカの状況。今の私たちの生活に無縁だと思っていたことが直接繋がった衝撃は今でも忘れられません。自分自身ではなかなか行動を起こせないまでも、無力ではない自分自身を奮い立たせ、今後もテラルネの支援を続けていきたいと思います。



三竹 恵美さん
臨床心理士
ファンクラブ会員

初めてイベントに参加した時、「大きなトラウマを抱えていても『自分は誰かの役に立っている』という意識を強く持っている元子ども兵は自尊心を高く保ち経済的に自立していける」という報告を聞いて、そのような視点で一人一人をよく見て支援していることに共感し、すぐに支援をはじめました。2016年夏には夫とウガンダを3週間旅行し、テラルネの現地事務所（スマイルハウス）も訪ね、皆さんに大変お世話になりました。大人も子どもも活き活きしている素敵な場所でした。



岡崎 愛さん
会社員 / インターンOG
ファンクラブ会員

現地の人のための活動が、かえって人々を苦しめてしまう。そんな事実も珍しくない国際協力の世界。何が、彼ら彼女らの力になるのか考えていた矢先、テラ・ルネッサンスと出会いました。現地にないものを探すのでなく、その地に昔からあるものや当事者に内在する力を活かせる環境づくりに注目する。テラ・ルネッサンスの活動は、同じ地球上の仲間や地域が、未来への希望と自信を取り戻し、自立するための価値ある活動です。今後も応援しています。

ファンクラブ会員、募集中！

毎月1,000円で活動を応援できる『ファンクラブ会員』になると、**情報満載の活動レポート**や、**海外からのポストカード**などをお届けしています。ファンクラブへのお申し込みは、団体ホームページをご覧ください。

テラルネッサンス　ファンクラブ　検索

https://www.terra-r.jp/member.html

ここだけの情報がたくさん！



公益財団法人
日本国際協力財団

松緑神道大和山

テラ・ルネッサンス千葉

立正佼成会
一食平和基金

株式会社アイケイ

環境と平和のNPOネットワーク『地球村』

バドミントン専門店
頑張らない
バドミントン研究会

Shinnyo
宗教法人真如苑

日本NPOセンター

「5」のつく日。JCBで復興支援

公益信託
アフリカ支援基金

中井隆栄経営塾

DOTONBORI HOTEL
道頓堀ホテル
株式会社王宮

清水寺

公益財団法人 大阪コミュニティ財団
The Osaka Community Foundation

一般財団法人
レオ財団
LEO Incorporated Foundation

公益財団法人
生協総合研究所

ハートポケット倶楽部
花王ハートポケット倶楽部

大槌町

I ♥ Eco Life
興亜商事株式会社

ASJ
一般社団法人アフリカ協会

公益財団法人
京都地域創造基金

暮らしいきいき
みしまや

FELISSIMO
株式会社フェリシモ

RITAWORKS
リタワークス株式会社

特定非営利活動法人
青少年ワールドサポート21

有限会社アップライジング / 学校法人 山陽学園 山陽女子中学校・高等学校 / 近畿労働金庫 / 株式会社ウチヤマホールディングス / 三和パッキング工業株式会社 / 株式会社キャディッシュ
株式会社マジマ生コン / 株式会社ジェイック / 株式会社リコー リコー社会貢献クラブ・Free Will / 社会福祉法人合掌苑 / 株式会社 竃巧社 / NPO 法人コミュニティ時津 / 株式会社 H&N
水戸ヤクルト販売株式会社 / 地雷ゼロ宮崎 / 興亜商事株式会社 / 株式会社ジェイ教育システムズ / 株式会社ウエダ本社 / 株式会社トヨコン / 名鉄運輸株式会社 / 株式会社黒川クリーニング社金沢支店
有限会社東伸 / 株式会社ライフウィズ / 株式会社ノア動物病院 / 株式会社ゲットイット / 競馬区倫理法人会 / 美し港倶楽部 / 株式会社美輪 / 株式会社スフィダンテ / 株式会社シーアールエー
有限会社アースエネルギー研究所 / 株式会社アントレプレナーセンター / 京都市立藤森中学校 / 株式会社京応 / テラ・ルネッサンス後援会 秋田 / 宇都宮文化センター株式会社 / 株式会社リブート
株式会社ユニバースプロダクツ / 株式会社プラボー・フィルム / 株式会社コミアル / 会津建物管理株式会社 / 有限会社 徳久 セブンイレブン佐野工業団地店 / かがやき整骨院 / 日本絨毯株式会社
旅館清龍 / 株式会社南西観光ホテル / 株式会社那須観布 / 株式会社新湯給与計算センター / 株式会社ヤマプラス栃木 / 株式会社kurokawa / 株式会社IMPROVE / 金光教墨染教会
かみひとねっとわーく京都 / 豊田市立藤岡南中学校 / 徳田印刷株式会社 / 有限会社アムリット / 有限会社アイディー / 日新電装株式会社 / 特定非営利活動法人仕事人倶楽部
特定非営利活動法人アースユス仏教国際協力ネットワーク / 東北店技研クラブ / 株式会社NIコンサルティング / 株式会社穂高住販 / 株式会社西井製作所 / 株式会社黒川クリーニング社 / 株式会社丸忠
株式会社メイク・アクティブ・ピープル / 株式会社ピュアライフジャパン / 株式会社ビスタワークス研究所 / 株式会社ハイパーリンク / 株式会社ジプロス / 株式会社シェルビオ
株式会社キャリッジウェイ・コンサルティング / 株式会社カワハラ / 株式会社オンズホールディングス / 株式会社エフェ / 株式会社エグゼクス / 株式会社インフィニティコンサルティング
株式会社アイリスエステサロン / 株式会社 SSK / 医療法人ゆめはんな会 ヨリタ歯科クリニック / 伊那食品工業株式会社 / トキワ防災 / ダイイチ株式会社 / スペースガーデニング株式会社
キムタカ税理士法人 / カナンスローファーム / Renbird 株式会社 / 株式会社アスカ佛商 / 株式会社銚子大洋自動車教習所 / 株式会社アスカ / 銚子商工信用組合 / 株式会社太陽社 / 東関交通株式会社
株式会社石川自動車工業 / 株式会社セキネ / TEAMLOHAS 株式会社 / 有限会社宮内薬局 / 株式会社 NPS成田予備校 / 有限会社新生プロパティマネジメント / 文港堂書店 / 有限会社ジュピター
さざんか園 小畑デイサービスセンター / 株式会社アーネスト / 宍倉株式会社 / 有限会社廣瀬造園 / 八日市場瓦斯株式会社 / 有限会社名雪時計本店 / 鈴久建設株式会社 / 社会福祉法人九十九里ホーム
有限会社フラワーショップサクマ / 社会福祉法人広域福祉事業会 / ソニー生命保険株式会社 / 大野建築 / 株式会社河邑 / 株式会社セレント / 株式会社フーサワ / 銚光自動車工業株式会社
有限会社コスモライン / 株式会社ビューティースタジオセラピー / ライフ薬品株式会社 / 株式会社大和 / 有限会社ピーパップ / プライムホールディングス株式会社

※順不同・敬称略　5万円以上のご支援をいただいた法人・団体の皆さまを掲載しております。

2016年度決算ならびに2017年度予算

（単位：円）

Ⅰ 経常収入の部			2016年度 予算	2016年度 決算	2017年度 予算
1. 会費収入			28,000,000	30,747,833	42,000,000
2. 寄付収入			72,400,000	61,221,497	72,500,000
3. 事業収入			42,350,000	36,242,201	29,000,000
4. 助成金等収入			29,500,000	32,073,867	59,000,000
5. その他収入			0	3,534,067	300,000
経常収益合計			172,250,000	163,819,465	202,800,000
Ⅱ 経常費用の部					
1. 事業部門	海外事業	カンボジア事業	15,035,000	17,874,635	47,285,000
		ラオス事業	13,619,000	6,711,768	6,297,000
		ウガンダ事業	16,178,000	23,464,666	24,522,000
		コンゴ事業	14,287,000	13,460,739	12,543,000
		ブルンジ事業	25,468,000	25,700,685	26,921,000
	国内事業	東日本大震災復興支援事業	29,214,000	21,335,899	19,794,000
		啓発事業	26,397,000	14,215,574	13,942,000
		広報・資金調達事業	20,642,000	19,916,355	33,913,000
		アドボカシー（政策提言）	-	-	1,021,000
2. 管理部門			7,668,000	7,331,874	15,405,000
経常費用合計			168,508,000	150,012,195	201,643,000
当期収支差額			3,742,000	13,807,270	1,157,000

国際協力事業費明細

（単位：円）

カンボジア事業	現地管理費		2,864,624
	地雷撤去支援プロジェクト		643,646
	地雷埋設地域村落開発支援プロジェクト		11,457,231
	スラエ・スダウ小学校建設プロジェクト		2,406,220
	地雷埋設地域に住む障害者家族の生計向上支援プロジェクト		502,914
	合　計		17,874,635
ラオス事業	不発弾撤去支援プロジェクト		5,949,427
	不発弾汚染地域村落開発を通したコミュニティ・レジリエンス向上支援プロジェクト		229,562
	ラオス不発弾問題啓発プロジェクト		532,779
	合　計		6,711,768
ウガンダ事業	元子ども兵社会復帰支援プロジェクト	BHN支援	4,873,818
		能力向上支援	5,072,173
		心理社会支援	2,613,069
		収入向上支援	4,961,691
	不法小型武器問題啓発プロジェクト		102,570
	農業・畜産支援による貧困削減事業に係る後方支援事業		3,369,967
	ウガンダ視察ツアー		2,471,378
	合　計		23,464,666
コンゴ事業	元子ども兵及び紛争被害者エンパワーメントプロジェクト	食料安全保障支援	3,067,394
		収入向上支援	6,631,131
		心理社会支援	1,885,130
		健康を維持するための活動	1,877,084
	合　計		13,460,739
ブルンジ事業	紛争被害者及び貧困層住民の能力開発を通したレジリエンス向上プロジェクト		24,312,573
	青少年育成パイロットプロジェクト		1,388,112
	合　計		25,700,685

助成金内訳

（単位：円）

助成機関　※順不同	金額
1. 公益財団法人 生協総合研究所　アジア生協協力基金	999,320
2. 公益財団法人 日本国際協力財団	15,000,000
3. 公益財団法人 日本国際協力財団	4,791,400
4. 公益財団法人 大阪コミュニティ財団「匿名基金 No.22」	1,000,000
5. 日蓮宗あんのん基金	150,000
6. 公益財団法人 京都地域創造基金	731,643
7. 公益信託 アドラ国際援助基金	400,000
8. 大槌町 心の復興事業（補助金）	908,000
9. 公益財団法人 さんりく基金	347,504
10.一般財団法人 レオ財団	1,000,000
11.花王ハートポケット倶楽部　みらいポケット基金	990,000
12.一般社団法人 アフリカ協会　服部禮次郎アフリカ基金	773,000
13.特定非営利活動法人 日本NPOセンター　東日本大震災復興支援「JT NPO応援プロジェクト」	1,850,000
14.公益信託 アフリカ支援基金	1,133,000
15.宗教法人 真如苑	2,000,000

［ 上記に伴う各案件名 ］
(1) ロカブッス村協同組合組織化によるコミュニティ・レジリエンス向上支援事業 / (2) ブルンジにおける紛争被害者及び最貧困層住民の能力開発を通したレジリエンス向上プロジェクト
(3) ウガンダ北部における農業・畜産支援による貧困削減事業に係る後方支援事業 / (4),(5),(6) ウガンダ北部における元子ども兵社会復帰支援プロジェクト
(7) 地雷埋設地域村落開発支援プロジェクトフェーズ1：最貧困層への生計向上支援活動 / (8)「刺し子」を通した生き甲斐創出支援と持続可能なコミュニティづくり事業
(9) 復興市場から地域ブランドに成長するための新ライン商品の開発 / (10)15周年記念イベント / (11),(12) ウガンダ北部における元子ども兵社会復帰支援プロジェクト
(13) 大槌復興刺し子プロジェクト～受益者らによるオリジナル商品開発による生きがい創出と持続可能なコミュニティの形成～ / (14) ウガンダ北部における元子ども兵社会復帰支援プロジェクト
(15) コンゴ東部地域における元子ども兵及び紛争被害者支援プロジェクト

貸借対照表（2017年3月31日 現在）

（単位：円）

Ⅰ 資産の部			Ⅱ 負債の部		
1. 流動資産			1. 流動負債		
現金・預金	45,579,795		未払金	4,748,168	
売掛金	859,196		未払法人税等	142,000	
未収金	3,569,314		買掛金	81,700	
商品	6,251,224		預り金	994,899	
マイクロクレジット	1,362,394		流動負債合計		5,966,767
流動資産合計	57,621,923		2. 固定負債		
2. 固定資産			長期借入金	13,181,669	
有形固定資産	11,730,830		固定負債合計		13,181,669
投資その他の資産	490,000		負債合計		19,148,436
固定資産合計	12,220,830		Ⅲ 正味財産の部		
資産合計	69,842,753		前期繰越正味財産		37,334,606
			当期正味財産増減額		13,359,711
			正味財産合計		50,694,317
			負債及び正味財産合計		69,842,753

監査報告書

2017年5月19日

特定非営利活動法人テラ・ルネッサンス　理事長　小川真吾　殿

特定非営利活動法人テラ・ルネッサンス　監事　鯉田勝紀

私は、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの平成28年度における会計及び業務の監査を行い、次の通り報告する。

1、監査の方法概要
（1）会計監査について、帳簿ならびに関係書類の閲覧など、必要と思われる監査手法を用いて計算書類の正確性を検討した。
（2）業務監査について、理事から業務の報告を徴収し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、業務執行の妥当性を検討した。

2、監査意見
（1）活動計算書、貸借対照表及び財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく表示していると認める。
（2）業務報告書の内容は真実であることを認める。（3）理事の業務執行に関する不正の行為、又は法令もしくは定款に違反する重大な事項はないと認める。　以上

原本は別途保管しております。

団体概要

正式名称	特定非営利活動法人テラ・ルネッサンス	理事長	小川真吾
設立年	2001年（ 2005年 法人格取得、2014年 認定NPO法人となる ）		
活動対象国	カンボジア王国 / ラオス人民民主共和国 / ウガンダ共和国 / コンゴ民主共和国 / ブルンジ共和国 / 日本		
海外・国内事務所	本部事務局（ 日本 京都府 ） 大槌事務所（ 日本 岩手県 ） カンボジア事務所（ カンボジア王国バッタンバン州 ）/ ウガンダ事務所（ ウガンダ共和国グル県 ） コンゴ事務所（ コンゴ民主共和国南キブ州 ）/ ブルンジ事務所（ ブルンジ共和国ブジュンブラ市 ）		
海外における 主な協力団体	●カンボジア Mines Advisory Group(MAG) / Exceed(旧Cambodia Trust) Community Rural Development and Natural Agriculture for Supporting Environment(CRDNASE) ●ラオス MAG-Lao / UXO-Lao ●ウガンダ Gulu Support the Children Organization (GUSCO) Gulu NGO Forum Uganda Action Network on Small Arms(UANSA) [redacted]World Vision Ugada ●ブルンジ CEDAC		

役員・体制（2017年3月末日）

理事	小川真吾 / 鬼丸昌也 / 中井隆栄 / 岡田則子 / 新居真衣
監事	鯉田勝紀（ 公認会計士・税理士 / 鯉田会計事務所 ）
スタッフ	●本部事務局(京都) 有給専従職員 6名 有給非専従職員 3名 インターン 15名 ●大槌事務所(岩手) 有給専従職員 1名 有給非専従職員 3名 ●カンボジア事務所 日本人有給職員 1名 ローカルスタッフ 6名 ●ウガンダ事務所 ローカルスタッフ 13名 ●コンゴ事務所 ローカルスタッフ 6名 ●ブルンジ事務所 ローカルスタッフ 4名
会員数	ファンクラブ会員 1,314名 / 正会員 85名 / 個人賛助会員 194名 / ジュニア賛助会員 8名 / 団体賛助会員 104団体 【 総会員数 延べ 1,705名・団体 】
加盟団体	(特活)関西NGO協議会 / (特活)国際協力NGOセンター / 日本小型武器行動ネットワーク (特活)地雷廃絶日本キャンペーン / 児童労働ネットワーク / 動く→動かす / 新公益連盟 / 京都経営品質協議会 Uganda Action Network on Small Arms(UANSA) / The International Action Network on Small Arms(IANSA) Child Soldiers International / Gulu NGO Forum

2016年度年次報告書 / 制作協力：江藤 ちふみ

Terra Renaissance
ひとり一人に未来をつくる力がある
認定NPO法人 テラ・ルネッサンス

〒600-8191 京都府京都市下京区五条高倉角堺町21番地 jimukinoueda bldg. 403号室
TEL：**075-741-8786** FAX：**075-741-7965** E-mail：**contact@terra-r.jp**
HP：www.terra-r.jp Facebook：terra.ngo Twitter：@terra_ngo